

### (3) 地域が輝く笑顔あふれる里の島

#### 政策⑨ 交流・連携のまちづくり

施策20 広域交流と連携による定住の推進

施策21 「地産知招」に基づく里島ツーリズム推進による交流人口の拡大

#### 政策⑩ 島びとが主体となったまちづくり

施策22 島びと自らが行うふるさとづくりと人材育成

施策23 個性豊かな地域の伝統文化の伝承支援

#### 政策⑪ 未利用施設を活用したまちづくり

施策24 廃校など未利用施設の活用促進

#### 政策⑫ 参画と協働による人権が尊重されるまちづくり

施策25 人権が尊重されるまちづくり

### (4) 教育や文化が輝く笑顔あふれる里の島

#### 政策⑬ 明日を担う人材の育成

施策26 確かな学力・豊かな心・健やかな体を育てる教育の推進

施策27 魅力ある教育環境の整備

施策28 健全な青少年の育成

#### 政策⑭ 生涯現役で過ごすまちづくり

施策29 学び高め合う生涯学習の推進

#### 政策⑮ 里島の歴史・文化を活かしたまちづくり

施策30 島の歴史を物語る文化財の保存と活用

施策31 次代に残す誇り高い地域文化の継承・創造活動の推進

#### 政策⑯ スポーツをとおした活力あるまちづくり

施策32 スポーツに親しむ環境整備

### (5) 福祉が輝く笑顔あふれる里の島

#### 政策⑰ 健康づくりの推進と医療体制の維持確保

施策33 安全・安心な救急医療体制の維持確保

施策34 生涯をとおした心と体の健康づくり

#### 政策⑱ 未来を拓く子どもたちの育成

施策35 安心して生み育てることができる環境整備

#### 政策⑲ 支え合う福祉のまちづくり

施策36 高齢者が元気に暮らせる環境整備

施策37 障がい者にやさしい環境整備

施策38 地域福祉が充実し安心して暮らせる環境整備

# 島びとが輝くまちづくり重点プロジェクト

島しょ部の活性化を図り、「島びとが生き活きと輝く笑顔あふれる里の島」を実現するため、島に住む人にとって「暮らしやすい島」であり、また島外に住む市民からも親しまれ愛される「市民の第二のふるさとの島」として感じていただけるようなまちづくりを展開していく必要があります。

そこで、「島びとが輝くまちづくり重点プロジェクト」として次の施策を積極的に推進していきます。

## (1)「暮らしやすい島」をめざす取り組み

### ① 海上交通の利便性の向上

便数の確保や運賃負担の軽減、航路の維持については、島びとをはじめとする利用者・船会社・行政の協働により、コストや利便性などを多面的に考慮しながら、各種船賃助成制度の維持・拡充など、これらの課題解決に取り組みます。また、老朽化した船舶の更新の課題への対応について、調査研究を進めます。

### ② 安全で安心して暮らせる島づくり

島の強みである、互いに支え合う関係やコミュニティのつながりを活かしつつ、救急医療を含めた医療・介護体制の維持確保を図るとともに、防災対策、消防・救急などの課題については基盤整備を推進し、島びとが安全安心に笑顔で暮らせる島づくりに取り組みます。

### ③ 明日を担う人材の育成

個性あふれる里島を守り育てるとともに、新たな地域社会の創造や構築に向け、人材育成大学などへの派遣や地域での研修会を開催するなど、地域の活性化につながる地域リーダーの育成に取り組みます。

### ④ 産物の販売促進・販路拡大

アンテナショップ<sup>※</sup>の開設や大規模小売店舗が力を入れている産直コーナーへの出店、直販ルートの新規開拓、インターネットを活用したネットショッピングサイトの開設などについて調査研究します。

**用語解説** アンテナショップとは …… 企業や自治体などが自社(当該地方)の製品の紹介や消費者の反応を見ることを目的として開設する店舗のこと。

めざす将来像「島びとが生き活きと輝く笑顔あふれる<sup>さと</sup>里の島」の実現に向けて、5つの基本政策とともに、「島びとが輝くまちづくり重点プロジェクト」を積極的に推進していきます。

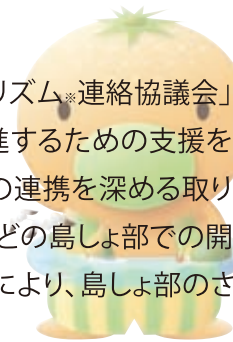
## (2)「市民の第二のふるさと」をめざす取り組み

### ① 定住の促進

移住を考えている島外の人が島での生活を体験し、一定期間の「お試し移住」が可能となる滞在型交流施設の整備や受け入れ体制の構築に取り組みます。また、未利用施設などを活用し、定住の受け皿としての利用を検討します。

### ② 里島ツーリズムの推進

松山島博覧会終了後に設立された「まつやま里島ツーリズム※連絡協議会」の活動や農家・漁家民宿などの島ならではのツーリズムを推進するための支援を行います。さらに、愛媛県グリーン・ツーリズム※推進協議会との連携を深める取り組みに加え、本市島しょ部をはじめ広島県域やしまなみ海道などの島しょ部での開催が予定されている「(仮)大・島博覧会」を活用した広域連携により、島しょ部のさらなる活性化を図ります。



### ③ 里島ブランドの確立

里島全体のイメージが個別の産物やイベントに結びつき、「里島ブランド」として定着するような取り組みについて検討します。さらに里島ツーリズムや定住促進、産物の販売促進・販路拡大の取り組みと連動しながら、「松山ブランド」とともに松山の島しょ部が全国に認知される広報戦略を展開し、「里島ブランド」の確立をめざします。

### ④ 未利用施設の利活用

未利用施設を活用し、島しょ部の交流人口の増加や雇用の創出を図り、地域の活性化につながる施策について調査研究に取り組みます。

#### 用語解説

里島ツーリズムとは ……………

松山市の造語。島しょ部ならではの「自然」、「文化」、「食」を中心とした様々な体験イベントなどを味わってもらい、島に住む人たちと温かな交流や出会いを楽しむこと。

グリーン・ツーリズムとは ……………

農山漁村地域において自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動。

# 愛ランド<sup>りとう</sup>里島構想

対象期間：  
平成24年度～平成33年度

## ◆めざす将来像

島びとが生き活きと輝く笑顔あふれる<sup>さと</sup>里の島

積極的に推進!!

### 5つの基本政策

- (1)産業が輝く笑顔あふれる里の島
- (2)環境が輝く笑顔あふれる里の島
- (3)地域が輝く笑顔あふれる里の島
- (4)教育や文化が輝く笑顔あふれる里の島
- (5)福祉が輝く笑顔あふれる里の島

### 島びとが輝くまちづくり重点プロジェクト

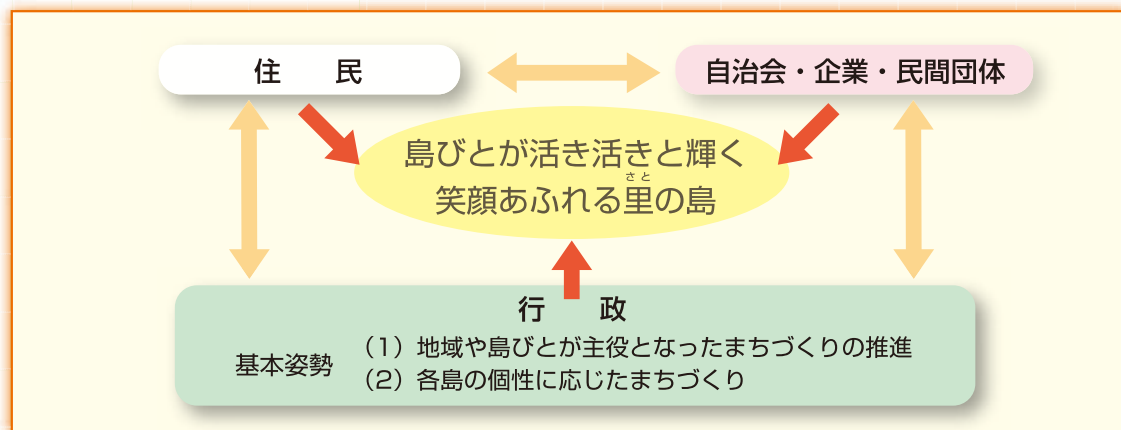
- (1)「暮らしやすい島」をめざす取り組み
  - ①海上交通の利便性の向上
  - ②安全で安心に暮らせる島づくり
  - ③明日を担う人材の育成
  - ④産物の販売促進・販路拡大
- (2)「市民の第二のふるさと」をめざす取り組み
  - ①定住の促進
  - ②里島ツーリズムの推進
  - ③里島ブランドの確立
  - ④未利用施設の利活用

これらの課題を解決するために…

### 現状認識

- 海上交通
- 台風・高潮・浸水など
- 医療体制・医療サービス・救急活動体制
- 避難所・避難路等
- 漁港・港湾等
- 農業・漁業振興
- 良質で安定した水
- 定住の促進
- 社会福祉・高齢化

## ◆推進体制



## ◆まちづくりのキャッチフレーズ

暮らして笑顔 来て笑顔 私たちのふれ愛ランド

平成24年3月発行

編集 松山市総合政策部企画政策課

〒790-8571 愛媛県松山市二番町四丁目7-2

電話 089-948-6816 FAX 089-934-1804